

2 2 陳 情 第 1 3 号	富久小学校統廃合見直しについての陳情
付 託 委 員 会	文教委員会
受 理 及 び 付 託 年 月 日	平成 2 2 年 3 月 1 5 日 受 理、 平 成 2 2 年 3 月 1 5 日 付 託
陳 情 者	新宿区四谷————— 代表 ————— 外——名
<p>( 要 旨 )</p> <p>新宿区教育委員会の富久小学校統廃合の進め方について、新宿区教育委員会と保護者、地域・関係者の相互の意見の一致が図られていません。よって、富久小学校統廃合の見直しを嘆願いたします。</p> <p>( 理 由 )</p> <p>平成 1 6 年に学校選択制を開始し、その後、若松地区の学校で偏りがあるにも関わらず、その結果として大人数学校と、少人数学校を作ってしまいました。その後、それら支障が起きたにも関わらず、学校選択制度の検証を行わず、今度は少人数学校を単純に統合しようとしており、進め方はあまりにも強引であり、保護者は納得できるものではありません。</p> <p>また、富久の町から小学校が無くなることは、コミュニティの拠点が無くなり、文化・スポーツ施設の開放の場が無くなり、最終的に町の活力が無くなり、富久の地域・関係者にも多大な影響を与えます。地域・関係者を交えての討論は 1 度(平成 2 1 年 3 月 1 4 日)しかなく、地域・関係者の方々が納得できた議論とは思われません。これら統廃合の進め方で合意を図るには、関係者との議論などを通じて、根底にある多様な価値観、問題を顕著化させ、相互の意見の一致を図る過程が必要です。その過程を中途半端に進めている新宿区教育委員会のやり方に 憤りを感じます。</p> <p>本陳情書作成にあたり、数多くの保護者と、富久小学校学区の富久北町会、富久町中町会、西富久町会、東富久町会、市谷台町町会の各町会長からも署名と押印で賛同を得て、まさに保護者と地域・関係者が統廃合の見直しを要求しています。</p> <p>何卒、新宿区教育委員会と保護者、地域・関係者の相互の意見の一致が図られていない富久小学校統廃合の見直しを嘆願いたします。</p>	